

# 市政に対する

# 一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。6月定例会では、6月15日・16日・17日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。



**申請書を書く手間がなくなる「書かない窓口」の認識は**

公明党 井上 賢二

### ●窓口業務について

**Q** 市民が申請書を書く手間をなくせるほか、利便性の向上などに成果を上げていく、書かない窓口の認識は。

**A** 職員が対面で必要事項の端末入力を行い、業務システムへ自動反映する仕組みと認識しているが、混雑時には時間を要すると想定される。

### ●小中学校の環境整備及び教育について

**Q** いじめ投稿を防止するため、どのような情報モラル教育を行っているか。

**A** 各学校では、発達段階に応じた授業を行っている。各校の情報化担当者にデジタルシテイズンシップを育てる情報モラル教育の研修を行っており、今後も充実させたい。

### ●インターネット上の誹謗中傷による被害の発生防止策や、被害者の支援策を明示した条例の制定を考えては。

**A** 先進的な施策を行っている自治体の事例を参考にしながら、課題解決に向けた取り組みを調査研究したい。

### ●高齢者支援について

**Q** eスポーツは、加齢に伴い筋力や記憶力などの心身の活力が衰える、フレイル予



6月9日、綾瀬小学校の児童が議場を見学しました<議場にて>

あやせ未来会議 安藤多恵子



**地域に合わせたオリジナルな交通形態の検討を**

### ●これからの交通政策について

**Q** 防になる。今後、eスポーツを取り入れた事業を考えては。

**A** 高齢者のフレイル予防に効果がある一方、ゲーム依存症や閉じこもりなどの課題もあり、効果と課題の両面を慎重に検討する必要がある。

**Q** 地域ごとに課題や要望はさまざまであり、コミュニティバスを含む既存の公共交通と福祉輸送の連携を整理し、その他の移動手段を含め、地域の実情に合った地域交通を検討する必要がある。

### ●市民活動・協働の在り方について

**Q** きらめき補助金と提案型協働事業の現状と今後の取り組みは。また、市民共創を目指すために、企業3社と商工会からなる4者協議に市民活動などを応募しては。

**A** きらめき補助金の申請件数は増加傾向にある。提案型協働事業は実施される事業が少なく、促進に向けて取り組んでいく。また、市民活動推進への4者協議の活用は、改めて研究していきたい。

### ●あやせっ子の給食について

**Q** 給食を試食したが、おかずが少なく感じ、彩りもなかった。現状の給食で子どもの栄養は足りているのか。

**A** 給食はおかずの組み合わせなどにより、毎日同じ栄養バランス、栄養価ではない。日々の献立は、学校給食摂取基準に基づき、栄養士が適切に栄養管理を行っている。

創政会 青柳 慎



**本市の財政状況を鑑みた文化会館と図書館の再編を**

### ●中心市街地エリア再編について

**Q** 市公共施設再編計画では、文化会館は規模を縮小して建て替えるところがあるが、建て替えには多くの課題がある。長寿命化計画では、20年以上は耐久できるとあるため、現状維持でのリニューアルが良いと考えるが、今後の方針は。

**A** 令和3年10月に策定した、市中心市街地活性化の基

**Q** 図書館は単独で規模拡大しての建て替えは困難とのことだが、適正規模での増築や移転計画を考えないか。

**A** 長期的な展望を見据えた上で、施設に必要な機能や在り方などを総合的に判断し、再検討を行っている。

### ●旧消防本部庁舎跡地を商業エリアの一つとして活用していくが、今後の予定は。

**A** 令和5年度中に先行着手を行い、6年度には施設のオープンを予定している。

### ●大型商業施設エリア全体が完成するまでの流れは。

**A** 現在、地域の活性化などに資する活用事業の提案を公募型プロポーザル方式により募集している。令和4年度中に基本協定を締結し、10年度のグランドオープンを目指して協議を進めていきたい。

## 詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

綾瀬市議会

なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。

